

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合って 話し合って とともに学ぼう !

ながさかっこ

ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.3 2025年5月発行 発行責任者：校長 國分 孝明



今年は例年より暑くなるのが早く、4月後半から暖かいというよりは暑い日が多くありました。家庭訪問期間中は時間をとっていただきありがとうございます。お話ししていただいた内容は今後の指導に役立てさせていただきます。

さて、今学校では運動会の練習の真っ最中です。表現活動(ダンス)は今年も低中高のブロック単位で行います。体育館での練習から始まり、ダンスを大まかに覚えたところで、広い運動場での練習に移っています。そこでは隊形の移動はもちろんのこと、細かいタイミング等も練習しています。

残り1週間の練習となります。5月の最終週の暑さは和らぐようですが、熱中症の備えることにしたことはありません。予防には水分補給が大切です。水分だけでなくミネラルも必要となりますので、普段のお茶に一つまみの塩を入れていただくと効果的なので、そちらもよろしくお願ひします。

~~~~~

## き聞くと訊くの学習 (5年生)



5年生では、国語の単元「きいて、きいて、きいてみよう」の単元の学習をしました。3人1組のグループとなり、聞き手、話し手、記録する人の役割に分かれながらインタビューをおこなう活動です。インタビューまでの準備と

して、友だちに質問することを考えたり、想定できる答えも同時に考えたりしながら、スムーズにインタビューが進められるように計画を立てました。インタビュー本番では、相手の表情をしっかりと確認しながら、インタビューが進められていました。考えていた質問を出しきってしまった際には、自分で新しい質問を考えることができる児童もあり、より深く友だちのことを知ることができたようです。自分ごとについて友だちに話を聞いてもらえることや、共感してもらえることは一人ひとりにとって、すてきな経験となり、よりよいインタビュー活動がおこなえました。また、5年生になって初めて知る友だちのこともあり、終始楽しそうにグループで活動しており、国語の学習を通じて、仲間づくりを深めることができました。



## たま 玉ねぎのお味は? (2年生)

4月28日(火)三浦農園さんの畑で泉州黄玉ねぎの収穫をしました。

泉州黄玉ねぎは、日本に最初にはいつてきた玉ねぎです。なにわの伝統野菜に指定されていて、甘みが強く、普段見る玉ねぎより平らな形になっています。三浦農園さんでは、この泉州黄玉ねぎを大切に育てています。そして毎年、長坂の子どもたちに収穫体験をさせてくれています。



子どもたちは、1年生の11月に苗植え、3月に観察、草引きに行き、3回目の畑訪問でした。久しぶりに見た玉ねぎはびっくりするほど大きく育っていました。子どもたちは土の中からポンと出てくる玉ねぎが面白く、あっという間に収穫してしまいました。すると特別に収穫場所を増やしてもらうことになり、その場所も楽しく収穫していました。最後には、お気に入りの玉ねぎを1ついただき、学校へ戻りました。

家に持って帰った玉ねぎは、カレー、バターソテー、野菜炒め、肉じゃが、サラダ、みそ汁などでおいしくいただいたようです。お料理していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

子どもたちはこの後の学習でキュウリやミニトマトなどの野菜を育てます。その時に三浦農園さんには、野菜名人として、学校に来ていただき、野菜を上手に育てるコツについて教えていただく予定です。

## ～泉州黄玉ねぎ収穫後の感想～

- 「小さいのと大きいのがあって、おいしかったです。」
- 「玉ねぎをぬくのが楽しかった。目がいたくなかったけど、楽しかった。」
- 「1年生の時に玉ねぎの赤ちゃんをうえて、しゅうかくに行かせてもらって、楽しかったです。」



※この日は給食センターからも栄養士の先生たちが来ており、一緒に収穫体験をしました。そして、5月13日の給食メニューでハンバーグの「きたまねぎソース」として登場すると、子どもたちはいつもよりおいしいと笑顔で食べていました。